

されども是ハ者ニ限ラバ目白成釣ナリ此モ亦云々之
ふる釣ノ火は起ル。あふべ目白釣より始りたりなる程
釣ナリ此モのふれども目白の餌返たるハ釣止るを度と云
ふが難く之は野食より出玉と餌に付替ふればむづか
しきと云ふ普く人の知る事やがも我れ年た過しんころ度
ども成バ悉く書記しぬる内より万々むと云ふ人との氣
の付ぬ事洗有悔じ此物も何ふにと思ふよりかくかくしく
書ので侍が